

広報たしる

No.325

昭和55年9月号

田代町総務課編集

1,500部発行



“きれいな活花を いけばな 窓口”

橋ノ口の西久保さんは、
毎月二回、役場窓口で活
花をかざってくださいま
す。

山月流を勉強され、窓
口にこられるお客さんに
少しでも明るさをと、ひ
かえ目に話されます。

ご善意に感謝します。

白旗のきりぎりすの音の日は、



乳児を心身ともに、すこやかに育て、又発育不良、身体障害児の早期発見に努めるため実施されている赤ちゃんコンクールで本町でも春の乳児健診で次の四名を表彰しました。

柴立 樋高 勝治ちゃん
鶴園 清水 文子ちゃん

準特選児に入選 春の赤ちゃんコンクール

早瀬 鍋 光博ちゃん
猪鹿倉 元丸亜希子ちゃん
中でも樋高勝治ちゃん、清水文子ちゃんは県大会で準特選児として入選しました。町長もこれは、母子保健推進員のみなさんの活躍や母親の育児への関心の高まり、母子相談等の浸透の結果ではないかと喜んでいました。

これから子供を心身ともにすこやかに育てる為に、各相談・健診等には積極的に参加しましょう。

十月十日 町民運動会

夏の疲れにご用心 秋の全国交通安全運動

夏の疲れの出る秋口は、ドライバーにとっても、要注意です。ことしは、交通事故による死者が増加しています。例年、過労による交通死亡事故は、スピードの出し過ぎ、わき見運転、酒酔い運転に次いで第四位を占めています。

21日から、秋の全国交通安全運動が展開されます。秋はまた行楽のシーズン、家族そろってドライブをする機会も多く、とくに大黒柱のご主人は夏の疲れをおして、行楽のコンダクター兼ドライバーとして大活躍しなければなりません。過労運転による事故を起こさないよう、くれぐれもご用心。

みんな一生懸命 原付講習会

去る八月二十五日、中央グラウンドで一般女性及び六十才以上の老人を対象にした原付自転車講習会を大根占警察署並びに交通安全協会の方々の指導で実施しました。

天候もよく、町内百八十余名の免許所持者が参加し熱心に受講しました。

単車が転倒す



ヤクルト作戦

八月十四日、町安全協会の方々がねむけざましにと運転車にヤクルトをプレゼント！

るハブニングや信号無視など……指導者の方々の意見では、最近の二輪車の事故は、いたましい事故が多いとか、単車を運転される方は交通ルール、特に一旦停止、右折、左折の移行に充分気をつけてほしいとのことでした。



“皆で協力 国勢調査”

十月一日、全国いっせいに国勢調査が行われます。国勢調査は国の最も基本的なかつ大規模な調査で、大正九年の第一回目以来、五年ごとに実施され、今回ですでに十三回目、わが国人口の高齢化が進むなかでその実態を明らかにし、社会福祉や雇用などの行政に生かされるは

か、住宅、教育などが国が抱えるさまざまな問題への大切な資料となります。さらに今回は国連のすすめ世界各國が参加する「一九八〇年世界人口・住宅センサス計画」の一環として国際的にも重要な意義をもっています。

調査の対象は国内に住んでいるすべての方です。九月二十四日から三十日まで、調査員が皆さんの自宅に調査票の配布に回っています。できるだけ、調査員から直接お受け取りになるようお願いいたします。調査事項は合計二二項目、わずかな時間で終わりますので、忘れないうちに記入ください。調査票に記入していただいた内容をほかにもらしたり、統計以外の目的に使うことは法律で固く禁止されています。安心してありのままをご記入ください。また、これから出張や旅行などを計画されている方は、調査員にその旨をお伝えください。

皆さんひとりひとりの協力が明日の日本に生かされます。

川原分団が優勝

郡消防操法大会

去る八月二十日、鹿屋市で開催された郡消防操法大会（二市九町）の小型ポンプの部において、川原分団が三回連続優勝を飾りました。

農作業の忙しい中で、練習に励んだ昼夜の努力が、優勝へつながったことでしょう。

このチームは、九月十二日の県大会に向って、毎日練習に励んでいます。



敬老の日

“敬老の日 いで湯のまちに妻といて” ある老人クラブの会員の句です。

敬老の日に、妻と二人で温泉旅行をしたという、幸せな情景ですが、“妻といて”という言葉の中には、長い人生航路を共に歩んで来た老妻に対するいとおしみの気持ちと同時に“二人はっち”という寂しさも感じられます。

九月十五日の敬老の日が、国民の祝日と定められたのは昭和四十一年のことですが、いまではもう秋の行事のひとつとして俳句の季節になるほど親しまれています。

この日は、多年にわたって社会に尽くして来た老人を敬愛し、長寿を祝い、また国民すべてが、

自分の老後に関心を持つ日でもあります。

最近では老人のゲートボール熱が全国にひろまるなどスポーツも盛んになり、趣味や勉強に打ち込む老人の姿も目立ちます。また“手づくりブーム”や“ふるさとブーム”で、老人のチェアがヤングたちから評価されはじめているのも最近の傾向です。もちろん各種の福祉政策も進められています。

それにしても、警察庁が発表した「五十四年中の自殺者」の中で、もつとも多いのは六十五歳以上の高齢者で、自殺者全体の二・三・二を占めているというのはいまや考えさせられる数字です。

敬老の日には、きまつて老人の自殺者の話題が新聞にのります。が、実は全国で毎日平均十四人近くもの老人の自殺者があるのです。

「高齢者問題の現状」（総理府）によると、六十五歳以上の老人はいま全国で一千万人以上、それが四十年後の昭和九十五年（西暦二〇二〇年）には二千六百万人と推計されています。

敬老の日にあたり、あらためて「高齢化社会」について真剣に考えたいものです。

四月十四日や、肌寒い日に田植をした仲よし農園の稲も、実のりの秋をむかえ黄金の穂を重くたれるようになってきた。

農園主任の田畑教諭は八日頃が刈り取りの最適日と判断し、その準備を進めたが前夜の大雨のため中止、翌九日に計画を変更、初めての仲よし農園稲刈りを実施した。

午前八時集合、一年生も長そでに身をかため、「よし思いきり働くぞ」という気持を顔にっ



稲刈り

ばいに表わして、さっと、集合する。

大原小学校

仲よし農園稲刈り

さきの県大会で準優勝した田代高は、八月一日県立鴨池球場で行なわれた全国高校軟式野球大会南九州予選でも準優勝した。この大会は鹿児島宮崎熊本三県の代表によって争われたもので田代はまず熊本河浦高校と対戦延長十回で勝った。疲れをいやす余裕もなく、わずか四十分の後宮崎高鍋高校を破った鹿商との決勝戦にのぞんだが、一時はリードしながら結局惜敗に終わった。

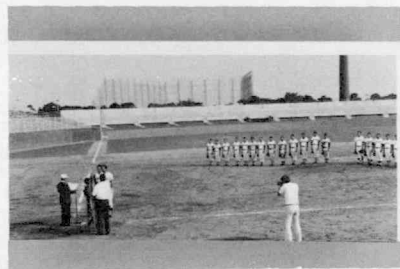
熱烈大応援団



教育だより

南九州大会でも準優勝

南大隅高校田代分校野球部



閉会式

った。

この大会出場はいろいろな点で意義深いものを残したように思われる。

第一は閉会式で大会長もふれ

仕事の分担が発表される。刈り方はなんと上級生の五・六年生鎌田教諭が指揮、運び方は四年・二年生福岡教諭、かけ方は三年・一年生で田畑教諭、山本教諭、渡辺さんは炊事担当、中村校長、辻教頭は総指揮をとる態勢で仕事開始。

父母の方々も五・六名手伝いに参加して下さる。バインダーをもつての参加は中野満郎さん。

五・六年生は、学校で用意した新しい鎌を片手に「早く刈りたいなあ」と大声で話しながら



われら「運搬隊」

鎌田・田畑両教諭の指示をまっ運ぶ方の四年・二年生も、友達に負けないとして、両腕に持てるだけ持って運ぶので、額に

模校でよくもこれだけ戦えたというところ。県予選では春の大会に続いて名門鹿実も破り、本大会では投打守備三拍子揃った熊本も降したのである。

第二は全校あげてのとりくみであったということ。応援団の結成にあたっては生徒会が自主的に行動し、休み中にもかかわらず短期日の間に本校生徒の大半が参加した。応援リーダーは三年男女全員がつとめ、にわか仕立てとはいえ回を追うごとに熟練し、熱気ある応援団に成長していった。三日前から練習を始めたブラスバンド代りのトランペットは、覚えてたの若鶏のときの声にも似てたどししか

つたが全体をよく引きしめていた。これが押され気味の対熊本戦で勝てた最大の要因のように思えてならない。

最後に、PTA、町民有志、父母の皆さんの物心両面にわたる力強い支えと暖い励ましに深甚の謝意を捧げたい。広報無線では、試合経過を流しても頂いた。応援用の横断幕も一看板屋さんの寄付である。仕事を休んで応援に参加して下さった父母、有志の方も多い。熊本に勝ったとき、これらの人びとの顔はクシヤクシヤで、目には感激の涙が光っていた。

お返しは今後の田代高校の発展するほかはない。

はうつすらと汗がにじんでいる。かけ方を受けもった三年・一年生も「はよ持ってこんか」「しっかいとかけよ」とお互に大声を出しながら、きびきびと動いている。

仕事開始から二時間半、計画の一切が終る。用意したいも鉢を汗のじんだ顔ではおぼつてよろこんでいる子供たち。

校長先生の、「よく働いた。なんきな仕事でも、がまんしてやるということがわかればよい」というお話で、仲よし農園の稲刈りを無事に終った。

花瀬公園でキャンプ

青年教室

八月三十日、三十一日青年教室の一環としてキャンプが実施された。

心配された天候も、若者の熱気で星空が広がりさわやかな夏の夜であった。

若い仲間が共に働き、食べ、遊び、そして語り合う―夜遅くまで続いた日程も大変楽しく過ごせた。

三十一日は、あいにくの雨の



私の人生感

西 秀徳

紫立(62才)

私達の年代は、明治憲法の教育を受け常に国民として忠と孝とに生きることのみを自分の信条として大きく伸びて大人になったものです。

終戦後は、国是も変って人間形成の條理も戦前とは程遠いものになって三十余年―。青少年の非行等も驚くべきものが報ぜられています。

私共親は、自分の行く末と子供の将来を今一度、昔に帰り考えて子弟の教育にあらゆる産業と共に考えなおすべきではないでしょうか。ともすれば現代の多様化に押されて青少年の健全育成が二の次になりかねな

いとする昨今、私は子弟訓育の自分の過去を振り返って見ることがあります。

私の子供に求める人間像は

- 一、自己を大切にすること。
- 二、自由であること。
- 三、強い意志をもつこと。
- 四、個性を伸ばすこと。
- 五、畏敬の念をもつこと。
- 六、我が家を愛の場とすること。
- 七、我が家を果とし人間形成の場とすること。

など又、社会奉仕に福祉増進に寄与出来る人となること創造性豊かな人間に育つこと、そして国の法が正しく守れる人間であり愛国心に富んだ人間を造ることを我が家の信条としてきました。

が、満足とは言えなくとも時き折りよせられる子供の便りを讀んでいささか意を安んで居ります。

私は六〇の坂を越えていくつかまだまだ鼻たれ小憎の部類ですが、これからは「志して三〇年余り」青少年の健全育成に私なりの誠をさげたいと思つて居ります。



「国民年金と厚生年金との二重加入はできません」

社会保険に加入し、未届の方は

早急に 役場へ届け出て下さい。

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません



子ども球技大会を開催

ソフト表木、バレー営林署住宅、高校ソフト努力優勝

夏休み中に実施される子ども球技大会が七月末から八月初旬にかけて実施された。



子どもソフトボールの熱戦

選手のマナーも年々よくなり盛り上がりのある好試合が展開されたようである。

●子どもソフトボール

△一回戦▽

大根田 17 — 4 早瀬

上原 6 — 3 上柴立

鶴園 15 — 7 長谷

岩崎 18 — 9 鳥淵

表木 26 — 5 辺志切

東中郡 16 — 8 猪鹿倉

△二回戦▽

山下 7 — 6 大根田

表木 10 — 1 鶴園

上原 11 — 9 岩崎

東中郡 9 — 4 平石

△準決勝▽

ふるさと講演会

八月二十一日、田代高校の体育館で「ふるさと講演会」を開いた。

講師は元伊敷中学校長の浜園藤夫先生と元大原中学校長で現在本町の文化財保護委員神田三男先生の二人をお迎えした。

参加した高校生は六十名くらいで少々さみしかったが、二人の先生の講話に熱心に聞き入っていた。



ふるさと講演会 (田代高)

山下 (抽選勝)
表木 5 — 4 東中郡
△決勝▽
表木 9 — 1 山下

●中学・高校女子バレーボール
△リーグ戦▽

鶴園 2 — 1 上原

営林署住宅 2 — 0 東中郡

上原 2 — 0 東中郡

営林署住宅 2 — 1 鶴園

東中郡 2 — 1 鶴園

営林署住宅 2 — 0 上原

一位 営林署住宅

二位 鶴園

●高校生ソフトボール

△一回戦▽

トンネルズ 20 — 11 大原三年生

△二回戦▽

努力 力12 — 3 集 合

マヨネーズ 10 — 7 エンジェル

田代一年生 9 — 5 広島カープ

トンネルズ(抽選勝) うさぎ

△準決勝▽

努力 力10 — 1 トンネルズ

マヨネーズ 11 — 4 田代一年生

△決勝▽

努力 力5 — 2 マヨネーズ

(写真右下は、子どもソフトボール大会で優勝した表木と準優勝の山下、閉会式で)



優勝した表木と準優勝の山下

かわごころもなど採取

前県立図書館の建物を模様変えして、新しく県立博物館が開館することになっている。

それに伴って田代町から陳列されるものに町指定文化財「かわごころも」及びその写真。「稲尾岳」の全容の写真と山中の原生林の写真があげられている。

八月二十日、博物館長と職員四名が来町され、「かわごころも」など採取した。

博物館へ行く機会のある方は気をつけてご覧ください。

スポーツ教室へ参加を!!

・麓地区でバトミントン教室(開発センター)
・大原地区で卓球教室(大原小学校)
九月末ごろからですあなたもどうぞ



おもな行事 9月〜3月

次に掲載するものは、あくまでも予定ですので変更されることがあります。

9・18 田代高校体育大会

28 田代中学校体育大会

10・5 田代小学校運動会

// 大原小学校運動会

// 大原中学校運動会

町民運動会

26 小組合ソフトボール大会

11・3 町文化祭

22 婦人バレーボール大会

27・28 小組合バレーボール大会

1・3 成人式

2・22 オリエンテーリング大会

3・15 フアミリーゲイトボール大会